

各 位

中野区保健所長

中野区感染症発生動向調査情報集計結果の送付について

中野区の平成29年第51週(12月18日～12月24日)分情報、東京都・全国情報を下記のとおり送付いたします。中野区分につきましては最新の情報を提供しております。なお、速報性を優先していますので調査結果によっては、後日、情報が訂正されることがあります。

記

1 中野区集計

- ① 全数届出患者数一覧(中野区届出分)
- ② 定点報告疾患集計(中野区届出分)
- 2 東京都感染症情報センター 感染症週報(第50週)
- 3 厚生労働省/国立感染症研究所 IDWR感染症週報(第49週・抜粋)

区内定点よりの調査票通信(51週速報)

・インフルエンザA型76人、B型99人、臨床診断5人、計180人、定点当り18.0人でした(小児科および内科インフルエンザ定点の合計)。

コメント

●インフルエンザ流行は徐々に拡大し、**区内では注意報開始基準値(定点当り10人)を超えています**(定点当り18.0人)。

今週、小学校4校7クラスがインフルエンザ様疾患による学級閉鎖または学年閉鎖を行いました。

●第50週の都内インフルエンザ定点からの患者報告数は3,756人、定点当り9.03人と前週(5.26人/定点)から増加しました。世田谷区(16.08人/定点)、多摩府中(14.39人/定点)、島しょ(14.00人/定点)をはじめとする10保健所管内で注意報レベルの定点当り患者報告数10人を超えています。

●12月21日、東京都福祉保健局は、第50週(12/11～17)に**都内インフルエンザ定点医療機関からの患者報告数が流行注意報基準(※)を超え、流行が広がっていると発表**しました。※注:流行注意報基準値:10人/定点を超えた全ての保健所の管内人口の合計が、東京都の人口全体の30%を超えた場合。

今後、大きな流行へと拡大する可能性があるため、インフルエンザの予防、拡大防止のために、より一層注意を払っていただくことが重要です。

●感染性胃腸炎の定点報告数は先週より減少していますが、引き続き患者数の多い状態が続いています(86人、定点当り14.3人)。

第52週に入って集団発生報告のあった鷺宮地域の保育園では、下痢の激しかった2歳児が受診先の検査でノロウイルス確定診断されています。

●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点報告数は例年よりかなり多い状態が続いています(37人、定点当り6.2人)。

○今週、2類の全数届出として結核が3人報告されました。患者さんは10歳代の女性(肺結核、結核性胸膜炎および粟粒結核、喀痰塗抹陽性)、40歳代の男性(肺結核)、および50歳代の女性(肺結核)です。

○今週、5類の全数届出として後天性免疫不全症候群(その他の急性感染症)が報告されました。患者さんは20歳代の男性で、発熱、頭痛、関節痛、皮疹の症状で受診されました。同性間性的接触が原因とされています。

中野区感染症発生動向調査週報

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/402000/d001703.html>

①-1 全数届出患者数一覧(中野区届出分) 一類から四類感染症まで

分類	疾病名	47週	48週	49週	50週	51週	2017年 報告数
一類	エボラ出血熱						
	クリミア・コンゴ出血熱						
	痘そう(天然痘)						
	南米出血熱						
	ペスト						
	マールブルグ病						
二類	ラッサ熱						
	急性灰白髄炎						
	結核	2				3	80
	ジフテリア						
	重症急性呼吸器症候群(SARS)						
	中東呼吸器症候群(MERS)						
三類	鳥インフルエンザ(H5N1)						
	鳥インフルエンザ(H7N9)						
	コレラ						
	細菌性赤痢						
	腸管出血性大腸菌感染症						15
四類	腸チフス						
	パラチフス						
	E型肝炎						
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)						
	A型肝炎						
	エキノコックス症						
	黄熱						
	オウム病						
	オムスク出血熱						
	回帰熱						
	キャサヌル森林熱						
	Q熱						
	狂犬病						
	コクシジオイデス症						
	サル痘						
	ジカウイルス感染症						
	重症熱性血小板減少症候群(※注)						
	腎症候性出血熱						
	西部ウマ脳炎						
	ダニ媒介脳炎						
	炭疽						
	チクングニア熱						
	つつが虫病						
	デング熱						
	東部ウマ脳炎						
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)						
	ニパウイルス感染症						
	日本紅斑熱						
	日本脳炎						
	ハンタウイルス肺症候群						
	Bウイルス病						
	鼻疽						
	ブルセラ症						
	ベネズエラウマ脳炎						
ヘンドラウイルス感染症							
発疹チフス							
ポツリヌス症							
マラリア							
野兔病							
ライム病							
リッサウイルス感染症							
リフトバレー熱							
類鼻疽						1	
レジオネラ症						1	
レプトスピラ症							
ロッキー山紅斑熱							

※注: 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

①-2 全数届出患者数一覧(中野区届出分) 五類感染症

分類	疾病名	47週	48週	49週	50週	51週	2017年 報告数
五類	アメーバ赤痢						3
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)						1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症						
	急性脳炎						
	クリプトスポリジウム症						
	クロイツフェルト・ヤコブ病						1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症						2
	後天性免疫不全症候群			1		1	13
	ジアルジア症						
	侵襲性インフルエンザ菌感染症						
	侵襲性髄膜炎菌感染症						
	侵襲性肺炎球菌感染症	1			1		3
	水痘(入院例に限る)						
	先天性風しん症候群						
	梅毒			1	1		22
	播種性クリプトコックス症						
	破傷風						
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症						
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						
	風しん						1
麻しん							
薬剤耐性アシネトバクター感染症							

② 定点報告疾患集計(中野区分)

定点種別	疾病名	47週	48週	49週	50週	51週	2017年 報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	16	38	69	117	180	3448
小児科	RSウイルス感染症		1			2	242
	咽頭結膜熱	1	4	1	4	6	221
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	33	39	29	37	714
	感染性胃腸炎	55	73	135	92	86	2480
	水痘	10	6	5	4	3	177
	手足口病	6	5	6	1	1	1077
	伝染性紅斑	2	1		1	1	78
	突発性発疹	4	5	4	2	3	225
	百日咳						
	ヘルパンギーナ						190
	流行性耳下腺炎		1	2		1	94
	不明発疹症						7
	MCLS(川崎病)					2	5
眼科	急性出血性結膜炎						1
	流行性角結膜炎					5	21
基幹	細菌性髄膜炎						
	無菌性髄膜炎						
	マイコプラズマ肺炎						
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)						
	感染性胃腸炎(※注)						

※注:病原体がロタウイルスであるものに限る。

中野区の定点

インフルエンザ定点数	10	10	10	10	10	10
小児科定点数	6	6	6	6	6	6
眼科定点数	1	1	1	1	1	1
基幹病院定点数	0	0	0	0	0	0
性感染症(STI)定点 [月報]	2	2	2	2	2	2